

10. 星座観察

1. ねらい

四季おりの星座などを観察し、星座に対する関心を高めます。
星空から、宇宙の広大さなどを実感するとともに、豊かな自然を感じる心を育てます。

2. 時期・時間

- ・年間を通じて活動可能（ただし、秋～春の寒い時期は防寒対策を十分にすること）
- ・1.5時間～2時間

3. 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者が準備する物
星座早見盤 ヘッドランプ（単3電池2コ持参） 双眼鏡 フィールドスコープ 天体望遠鏡(80ミリ7台) 森の天文台（スライディングルーフ）2基 ※森の天文台使用には当所の専門指導員の要請が必要。 指導員要請の際の注意事項は下記をご覧ください。 四季の星座とその観察（1～6巻）ビデオテープ ビデオプロジェクター ブルーシート（数に限りがあります。事前にご相談ください。）	時計 鉛筆 メモ用紙 懐中電灯 シート（寝転がり星を見る場合） ヘッドランプ用単3形電池2コ

4. 留意点

- (1) 天体望遠鏡を使用する時は当所の指導員の他に、引率指導者が最低1人つくようにして直接指導を行ってください。
- (2) 引率指導者は事前に「パソコンによる天文シュミレーション」等の映像を見ておくと星座観察の指導がしやすいでしょう。
- (3) 夏季でも夜間は冷えるので、長時間の観察には防寒着を用意しましょう。
- (4) 曽爾高原は天候の変化が激しいため、晴天時以外のプログラムを綿密に計画しておくことが大切です。
- (5) 天候等の条件がよければ、お亀池周辺で各自がシートを広げて寝転がり、しばらく満天の星空を眺めれば、とても良い経験ができるでしょう。その際は静かにしてまわりの自然も感じとりましょう。
- (6) 目が慣れれば夜道でも歩けるので、懐中電灯は必ず各自が持つ必要はありません。むしろ、余計な光は観察の妨げになるので、リーダーだけが所持するか、赤いセロハンを電灯に着けるかして、観察が円滑に運ぶようにご指導・ご準備ください。

5. 星座観察の種類について

- ・手軽に楽しめるフィールドスコープは「月」や「惑星」などを見ることができます。
- ・80mm天体望遠鏡は夜間使用貸出前の明るいうちに、光軸調整など事前の操作が必要です。
- ・森の天文台には「ミードLX90天体望遠鏡」があります。簡単な設定で見たい天体を自動的に探だし、追尾することができます。森の天文台使用は指導員の要請が必要になります。
※ただし、指導員の設定は必ず行えるわけではございません。事前にご相談下さい。
- ・指導員の要請があった場合、雨天時は研修室を使って、指導員によるパソコン等での星座解説など、別プログラムに変更しての実施になります。